

Mednafen Launcher

written by / 2013-07-25 00:03:45

「Mednafen」は、本GUIが一切ないエミュレタなのですが、

現在では用のランチャソフトも作られており、そちらを使う方が倒的に便利であるため、

ここでは、そのランチャソフトを使った形で明してまいります。

また、Mednafenは複数の機種が再現できるマルチエミュタですが、

ここでは「PCエンジン」に絞って取り上げていますので、ご了承下さい。

Index

0 . 導入

1 . 起動

Huカードソフトの起動

CD - ROMソフトの起動

CD - ROMソフトの起動 (CUEファイル)

2 . 設定

コントローラを設定する Very simple,load a game,press alt+shift+1 (for controller one)
and set your controls

画面サイズを変更する

3 . 便利な機能

ステートセーブ・口ード

早送り

キーコマンダー覧

キーコマンド変更 (ランチャーより)

キーコマンド変更 (Mednafen実行中)

おススメ画面設定例 (別ページ)

0 . 導入

(1) 「Mednafen」サイトの「Releases」のページから、最新バージョンの本ファイルをダウンロードします。

「Releases」のページの最下方、「Compiled Binary Packages:」の最新ファイル

(上の画面では"Mednafen 0.8.5") をダウンロード。

(2) 「Mednafen Launcher」サイトから、最新バージョンのランチャーファイルをダウンロードします。

(上の画面では"Mednafen Launcher 0.7d")

(3)ダウンロードしたファイルのうち、まずバイナリファイルを適当なフォルダに解凍します。

(4)次に、ランチャーファイルを解凍し、出てきたファイルの中から「mednafen_launcher」の本ファイルを、

mednafen本& #20307;ファイルと同じ（先ほどバイナリ& #12540;ファイルを解凍した）フォルダに入
れます。

(5)mednafen本& #20307;ファイルをダブルクリックして、一旦起動させます。

一瞬で動作が終了し、設定ファイル（mednafen.cfg）などが自動的に作成されます。

これ以降は、CD-ROMソフトを実行しないのであれば、必要ありません。

(6) 「Mednafen Launcher」の本体ファイルをダブルクリックして起動します。

(7)ランチャの「設定」をクリックすると設定ウィンドウが現れるので、

象機種欄の「PCE」、そのやや右上にある「SYSTEM CARD」の順にクリックし、

さらに「pce.cdbios PATH NOT SET」の右にある「select」をクリックします。

(8) 「ファイルを開く」ダイアログが現れるので、CD-ROM用システムファイルの

「BIOSファイル」(ZIPファイル; 縮されていても可)を指定して、「OK」をクリックします。

(9)最後に、設定ウィンドウ中の「SAVE CFG」をクリックした後、「OK」をクリックします。

以上で準備完了です。

1 . 起動

Huカードソフトの起動

(1) 「Mednafen Launcher」の本体ファイルをダブルクリックして起動します。

(2)ランチャーの「起動」をクリックすると、「ファイルを開く」ダイアログが現れるので、

HuカードソフトのROMファイルを指定します。

これで、Mednafen上でHuカードソフトが起動します。

また、ROMファイルを直接Mednafenのアイコンにドラッグ&ドロップをしても

起動することができます。

なお、どちらの起動方法でも、ROMファイルはZIP圧縮されたままのものでもかまいません。

(3)主な操作方法は次のとおりです（初期設定時）。

PCエンジン実機

Mednafen

十字キー上

W

十字キー左

A

十字キー右

S

十字キー下

Z

II ボタン

2 (テンキー)

I ボタン

3 (テンキー)

RUNボタン

ENTER

SELECTボタン

TAB

とりあえず、これでMednafen上にてHuカードソフトをプレイすることができます。

CD-ROMソフトの起動

(0)まず、「0 . 導入」の(6)以降の手順でCDROM用システムカードの「BIOSファイル」が

指定されているか確認して下さい。

(1) CD-ROMソフトを光ドライブにセット、もしくは「DAEMON Tools」などの仮想ドライブソフトで

CD-ROMソフトのイメージファイルをマウントします。

(2) 「Mednafen Launcher」の本プログラムファイルをダブルクリックで立ち上げ、「起動」を右クリック

します。

(3)するとドライブリストが表示されるので、先ほどCD-ROMソフトをセット(マウント)した

ドライブをクリックします。

(4) 「CD-ROMシステム」のタイトル画面が表示されたら、OKです。

以降は、この機のCD-ROMシステムと同様の操作で進めて下さい。

CD-ROMソフトの起動 (CUEファイル)

イメージファイルに「CUEファイル」がある場合、わざわざ仮想ドライブソフトでマウントしなくても、

Mednafenに直接読み込ませることができます。

ランチャーの「起動」をクリックして、「ファイルを開く」ダイアログで

CUEファイルを指定するだけでOKです。

2 . 設定

さらに快適なプレイ環境にするための設定について、触れてまいります。

コントローラを設定する

(0)まず設定前に、あらかじめPCにUSB接続のゲームパッドなど、使用したいコントローラを

接続しておき、Windows上で認識されていることを確認しておいて下さい。

(1)ランチャーの設定ウィンドウから、対象機種欄の「PCE」を選択した後、

「CONTROLLER」をクリックします。

(2)すると、以下のような設定ウィンドウが表示されます。

(3) 更したいボタン名をクリックした後、割り当てたいキ、もしくはコントロールのボタンを押して下さい。

何も押さずにもう一度クリックすると、更をキャンセルします。

「CLEAR」をクリックすると、全てのボタンの内容をクリアします。

(4)全てのボタンを設定したら、「OK」をクリックします。

ボタン名をクリックした後、コントロールパネルのボタンを押しても無反応だった場合、

ランチャー側でコントロールパネルを認識できていない可能性があります。

その場合は、ダウンロードしたランチャーファイルに同梱されている"paddll_01.zip"を解凍し、

出てきた2本のdllファイル ("mlpaddi.dll"と"mlpadidsdl.dll") をMednafen本とランチャーのある

フォルダに入れた後、もう一度コントロールパネルの設定をやり直してみてください。

画面サイズを変更する

ランチャーの設定ウィンドウから、象機種欄の「PCE」を選択した後、

フルスクリーンモード、ウィンドウモード欄の値を調節します。

値の小さなボタンをクリックして0.5ずつ値を加減することができますが

、
直接値を入力して指定することもできます。

「引き伸ばし表示」にチェックを入れると、大率の字とは係なく

フルスクリーン画面いっぱいにゲム画面が引き伸ばされます。

縦向き方向の解像度は320ドット、横向き方向の解像度は232ドットが「1倍」になります。

上の設定の場合、フルスクリーンモードでは1024×768ドットの画面に

960×696ドットの画面がセンタリングされて描かれ、

ウィンドウモードでは、640×464ドットの画面がウィンドウ内に描かれます。

フルスクリーンモードで、指定した解像度以上の画素率を指定した場合、

画面はセンタリングされるので、周辺がはみ出して描かれます

(例えば、1024 × 768の解像度にして、同時に4倍を指定した場合、画面は

1280 × 928ドットになるので、左右128ドットずつ、上下80ドットずつがはみ出します)。

最後に、設定ウィンドウ中の「SAVE CFG」をクリックした後、「OK」をクリックして下さい。

なお、以下のページにて、管理人おススメの面設定例を紹介しています。

そちらも、面設定の考にしてみてください。

おススメ面設定例（別ページ）

3 . 便利な機能

ステートセーブ・口ード

ゲームの進行状況をいつでも好きな時にセーブ・口ードできる機能です。

ゲーム中、[F5]キーを押すと、ステートセーブが実行されます

。

ステートセーブしたデー夕を口ードしたい時は、[F7]キーを押して下さい。

また、「ステートスロット」の番号を変えることにより、複数の
セーブデータを残すことができます。

1タイトルにつきステートスロットは0～9番まで用意されるので、残せるのは最高10個まで
です。

なお、最初は「0番」が指定されています。

ステートスロットの番号は、0～9の数字キー(フルキー)で直

接指定、

[-] (フルキー) で番号を - 1、 [^]キーで番号を+1 します。

番号指定後のステートセーブ・口ードは、そのスロット
番号に対して行われます。

早送り

一時的にゲームの実行速度を上げる早送り機能ですが、

初期設定時に早送り機能が割り当てられているキーが

日本語キーボードで直接入力することができない[~]であるため、

日本語キーボードを使用している場合、初期設定のままでは使うことができません。

そこで、以下の方法で変更する必要があります。

(1)ランチャーの設定ウィンドウから、「CONTROLLER」の右にある小さなボタンをクリックします。

(2)すると、以下のような設定ウィンドウが現れるので、「fast_forward」をクリックして、

早送り機能を割り#24403;てたいキ#12540;、もしくはコントロ#12540;ラのボタンを押して下さい。

何も押さずにもう一度クリックすると、#22793;更をキャンセルします。

(3)また、「fast_forward」の右にある小さなボタンをクリックして、「ffspeed」を選択すると、

早送り時の速度を調節することができます。

チェックがついているのが現在選択されている倍率で、クリックすることにより

変更することができます。

(4)変更が終了したら「OK」をクリックして下さい。

キーコマンダー覧

MednafenにはGUIがないので、エミュレート動作中のコマンドは、

全て直接キーを押して指示する「キーコマンド」で行います。

以下がキーコマンドの一覧（初期設定時）です。

(1)ランチャから割りてを更できるキーコマンド

キー;

ランチャボタン

コマンド内容

ALT + S

state_rewind_toggle

機能可 / 不可 切替

BACKSPACE

state_rewind

エミュレ

上記[ALT] + [S]で許可されている時のみ有

~

fast_forward

エミュレ

日本語キ、ボ、ドでは入力不可のため、更が必要

F9

take_snapshot

スクリーンショット

ALT + A

advance_frame

フレームアドバンス (コマ送り) モード開始

以降、[ALT] + [A]を押すごとに1コマ進む

ALT + R

run_normal

フレームアドバンス (コマ送り) モード終了

F5

save_state

ステートセーブ

F7

load_state

ステートロード

- (フルキー)

state_slot_dec

ステー;トスロット番号を - 1

^

state_slot_inc

ステー;トスロット番号を + 1

(2)上記以外のキーコマンド

キー

コマンド内容

F1

簡易ヘルプ表示

0 ~ 9 (フルキー)

ステートスロット番号を直接指定

SHIFT + F5

△ーピー録画

SHIFT + F7

△ーピー再生

SHIFT + 0 ~ 9 (フルキー)

△ーピー録画・再生時のスロット番号指定

SHIFT + F1

FPS表示

ALT + ENTER

フルスクリーン/ウィンドウ 切替

F2

キーコマンド割り当て変更 詳細な方法は後述

ALT + SHIFT

+

1 ~ 5 (フルキー)

コントローラコンフィグ (数字はコントローラ番号)

CTRL + SHIFT

+

1 ~ 5 (フルキー)

入力デバイス切替 (数字はコントローラ番号)

F6

ディスク面選択 (ファミコンディスクシステム)

F8

ディスク入れ替え (ファミコンディスクシステム)

面 (アタリリンクス / ワンダ / スワン)

F10

ソフトリセット

F11

面 / ドリセット

ESC / F12

終了

CTRL + 1 ~ 9

面レイヤ表示切替

SCROLL LOCK

Mednafenによるマウス入力の占有 / 解除 切替

マウス入力占有は、Windows上でマウスが使用できなくなる

ウィンドウ表示モードでPCエンジンマウスを使用する際に必要なコマンド

SHIFT + SCROLL LOCK

Mednafenによるマウス・キー入力の占有 / 解除 切替

キー入力占有は、占有解除以外のキーコマンドが一切使えなくなる

ファミコンのファミリーキーボードを使用する際に必要なコマンド

ALT + C

チートメニューー起動

ALT + T

チート可 / 不可 切替

T

ネットワークプレイコンソール呼び出し

ALT + D

デバッグ画面起動

キーコマンド変更 (ランチャーより)

(1)の表のキーコマンドは、ランチャーの設定ウィンドウから「CONTROLLER」の右にある小さなボタンを

クリックして現れる以下の設定ウィンドウで、キー割り当てを変更できます。

■ 変更したい項目のボタンをクリックして、割り当てたいキートン、もしくはコントロールのボタンを押して下さい。

何も押さずにもう一度クリックすると、■ 更をキャンセルします。

■ 更が終了したら「OK」をクリックして下さい。

なお、ランチャー上での割り当て変更は、ランチャーの仕様上、以下の注意点があります。

数字キー (テンキー・フルキー両方) やファンクシヨンキー、その他一部の特殊キーには

割り当てることができません。

上の設定ウィンドウで「OK」をクリックすると、表中赤字で書かれているキーコマンドの

[ALT]キーが自動的に不要となります。

半角英数字やファンクションキーにコマンドを割り当てたい場合や、ランチャー上ではできない

(2)の表のキーコマンドを変更したい場合は、Mednafen実行中に以下の方法で行います。

キーコマンド変更 (Mednafen実行中)

(1)Mednafen#23455;行中に[F2]キ#12540;を押すと、キ#12540;コマンドの#22793;更
モ#12540;ドに入ります。

(2)まず、#22793;更させたいコマンドが現在割り#24403;てられているキ#12540; (#22793;更前
のキ#12540;) を押します。

(3)次に、新しく割り#24403;てたいキ#12540;(#22793;更後のキ#12540;)を押します。

(4)すると、2つ目に割り#24403;てたいキ#12540;の inputs を促して#26469;るので、

今割り#24403;てたキ#12540;をもう一度押すと#22793;更モ#12540;ドが終了します。

1つのコマンドを複#25968;のキ#12540;に割り#24403;てたい時のみ、他に割り#24403;てたい別のキ#12540;を押して下さい。

ちがうキ#12540;を押す度にどんどん inputs を促してくるので、最後は同じキ#12540;を2回連#32154;で押すことにより、

「」;更モ「」;ドを終了させることができます。

なお、「」;コマンドは、「」;だけではなくコントロール「」;ラのボタンに割り「」;に
することもできます。

(例1) ステ「」;トセ「」;ブ (現在 [F5]「」;) を [F4]「」;に「」;更
したい。

[F2]「」;の後、 [F5]「」; [F4]「」; [F4]「」;の順に押
す。

(例2) ソフトリセット (現在[F10]キー) を[R]キーにも追加したい。

[F2]キーの後、 [F10]キー [F10]キー [R]キー [R]キーの順に押す。

(例3) スクリーンショット (現在[F9]キー) を[P]キーと「コント
ローラのボタン5」に変更したい。

[F2]キーの後、 [F9]キー [P]キー ボタン5 ボタン5の順に

押す。